



平成 23 年 3 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社コロナ  
代 表 者 代表取締役社長 内田 力  
(コード番号 5909 東証第 1 部)  
問 合 せ 先 常務取締役常務執行役員経理部・  
広報室担当兼経理部長 及川 良文  
(TEL 0256-32-2111)

## 通期業績予想および配当予想の修正等に関するお知らせ

### 記

平成 23 年 3 月 11 日（金）に発生した東北関東大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 22 年 10 月 29 日に公表した通期業績予想および平成 22 年 5 月 14 日に公表した配当予想を以下のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

併せて、震災被災地への追加支援についてもお知らせいたします。

#### 1. 通期業績予想の修正について

(1) 平成 23 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 22 年 10 月 29 日発表)	76,000	1,300	1,650	850	30 円 10 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	78,200	1,830	2,180	1,070	37 円 48 銭
増減額(B-A)	2,200	530	530	220	—
増減率(%)	2.9	40.8	32.1	25.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	75,240	863	1,151	460	16 円 01 銭

#### (2) 修正の理由

石油ファンヒーターは、幅広いニーズに応えるためにラインアップを充実させ、デザイン性と性能を大幅に高めた新商品などを需要期に積極的に供給したことから販売が順調に推移しました。また、昨年末に続き、年明け以降も寒波が断続的に到来したこともあり、暖房機器全体の販売が当初計画を大幅に上回りました。石油給湯機についても、買換え需要の高まりや高

効率タイプのラインアップ拡充およびリフォーム系販売チャネルの新規開拓を行い販売拡大に取り組んだ結果、好調に推移しました。

以上により、平成22年10月29日に公表した通期の連結業績予想を上記のとおり修正します。

なお、先に発生した東北関東大震災による影響のうち、現時点で判明したものについては上記数値に含めておりますが、引き続き調査中であり、当社の業績に大きな影響が見込まれる場合には、改めて開示します。

## 2. 配当予想の修正について

### (1) 修正の内容

	年間配当金 (円)				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想(平成22年5月14日発表)	—	6.00	—	6.00	12.00
今回修正予想	—	—	—	9.00	15.00
当期実績	—	6.00	—		
前期実績 (平成22年3月期)	—	11.50	—	6.00	17.50

### (2) 修正の理由

当社では株主に対する利益還元は経営の最重要政策のひとつと位置付けています。

上記「通期業績予想の修正について」に記載のとおり、通期の業績が会社予想を上回る見通しであることから、平成22年5月14日に公表した期末配当予想を上記のとおり修正します。

## 3. 震災被災地への追加支援について

当社は、震災被災地への追加支援として、白米2,500kgと生活物資を宮城県角田市に提供しました。提供した白米は当社グループ会社の農業生産法人「株式会社コロナアグリ」が新潟県三条市内で生産したものです。

株式会社コロナアグリは本年4月1日付で宮城県角田市内において農業事業を開始することとしています。

なお、当社では、国からの緊急要請に基づき石油ストーブ700台を本日までに被災地に向けて出荷したほか、当社としても同2,000台(3,000万円相当)の提供を決定し、新潟県を通じて被災地に向け順次供給しています。また、被災地の暖房を確保するために、石油ストーブの緊急的な生産対応を3月15日から開始しています。今後も国など公的機関からの出荷要請が想定されることから、迅速に対応してまいりたいと存じます。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上